

No.	<手だて>	<目的>
1	なるべく早く教室に行って授業環境を整える（何も言わない）	授業にスムーズに入れるような学習態度を養うため
2		早めにフラッシュカードを貼ると、生徒がそれを見て頭を働かせる
3		質問への対応
4	フラッシュカードの内容に口頭で答えさせる	現単元・既習単元における生徒の弱点項目に対する知識の定着
5		声に出させることで分かっているか否かの判断が明確になる
6		問題へのアプローチに対する頭の回転を速くさせる
7	フラッシュカードに答えている間に小テストを板書しておく	早く終わった生徒から、待たずに取り掛かれる
8	問題の答え（プロセスではない）を先に書いておく	先に解けた生徒が、自分の解答が正しいかどうかを事前に判断できる
9		正解かどうか分からないと、堂々と友達に教えることができない
10	全員起立、解けたら座りなさい、解けないときは議論しなさいと言う	座った人数をみて、教員が生徒の理解度の判断ができる
11		分からない生徒を放っておかない
12		教わる、貢献する、協力する等の態度を養う